

各位

インフォコム株式会社
東京都渋谷区神宮前2-34-17
(JASDAQ コード番号: 4348)

インフォコム、株式会社オーグス総研と 緊急連絡／安否確認システム「エマージェンシーコール®」の 販売代理店契約を締結

インフォコム株式会社（東京都渋谷区 代表取締役社長 山本 員裕、以下 インフォコム）は、株式会社オーグス総研（大阪府大阪市 代表取締役社長 平山 輝、以下 オーグス総研）と、緊急連絡／安否確認システム「エマージェンシーコール®」に関する販売代理店契約を締結し、更なる販売強化を図ります。

インフォコムとオーグス総研は、従来、災害対策サービスを始めとしたデータセンター事業に関して提携関係にあり、お客様に対して低コストかつ柔軟性の高いサービスを提供してまいりました。

今回、新たに緊急連絡／安否確認システム「エマージェンシーコール®」の販売代理店契約を締結する事により、関西エリアの販売強化のみならず、全国で広くビジネス展開をされているオーグス総研の取引先に対して、「エマージェンシーコール®」の東日本大震災での稼働実績やご利用頂いているお客様の事例等を、同社と協力し幅広く提供してまいります。

インフォコムグループは、平成 21 年 5 月に公表した中期経営計画（平成 22 年 3 月期～平成 24 年 3 月期）で、ASP※/SaaS※を含むクラウド※型事業の積極的展開を「重点分野」の1つとして位置付け推進しています。「エマージェンシーコール®」を始めとする当社グループのクラウド型サービスを、ご利用企業様のご要望に応じて安全かつ質の高いサービスとして提供いたします。

【「エマージェンシーコール®」について】

「エマージェンシーコール®」は、大企業や官公庁を中心に 450 法人（125 万ユーザー）を超える豊富な導入実績を有し、BCP※（事業継続計画）の初動体制で先ず必要となる社員の安否確認や、その後の必要メンバーの招集、行動指示等でご利用頂いております。今後も積極的なサービス展開を図る事により、お客様との接点を増やし更なる事業拡大を目指して参ります。

「エマージェンシーコール®」サービスについての詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.infocom.co.jp/emc/>

＜製品・サービスに関するお問合せ先＞

株式会社オーグス総研 営業本部 営業企画部 東京都港区芝浦4-13-23 MS 芝浦ビル9F	Tel: 03-5440-4771 E-mail: info@ogis-ri.co.jp URL: http://www.ogis-ri.co.jp/
--	---

インフォコム株式会社 製品ソリューション事業部 サービス営業グループ 東京都渋谷区神宮前2-34-17	Tel: 03-6866-3450 E-mail: emc-info@infocom.co.jp URL: http://www.infocom-sb.jp/
---	---

＜リリースに関するお問合せ先＞

インフォコム株式会社 広報・IR 室長 松尾 宏治 東京都渋谷区神宮前2-34-17	Tel: 03-6866-3160 E-mail: pr@infocom.co.jp URL: http://www.infocom.co.jp/
--	---

※ 本リリースに記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の登録商標または出願中の商標です。

【用語解説(五十音順)】

■ASP

ビジネス用アプリケーションソフトを、インターネットを通じて顧客にレンタルするサービスの事。ユーザーはウェブブラウザを使って、ASP の保有するサーバーにインストールされたアプリケーションソフトを利用する。

■BCP

Business Continuity Plan の略。企業が災害や事故等に遭遇し、通常の事業活動の継続が困難となった場合に、事業資産の損失を最小限に止め、必要な業務を柔軟に継続させ、できる限り早期に事業活動上重要な事業、機能を復旧するために、平常時の計画、準備や緊急時の方針、対策、手段を取り決めておく経営計画及び一連のプロセス。

■SaaS

Software as a Service の略。ユーザーが開発者等からソフトウェア提供を受けるに当たり、必要な機能のみを選択してインターネットを経由して利用できるようにしたソフトウェアの事。

■クラウド

ネットワーク、特にインターネットをベースとしたコンピュータの利用形態。ユーザーはコンピュータ処理をネットワーク経由で、サービスとして利用する。従来のコンピュータ利用は、ユーザー(企業、個人等)がコンピュータのハードウェア、ソフトウェア、データ等を、自分自身で保有・管理していたのに対し、クラウドコンピューティングでは「ユーザーはインターネットの向こう側からサービスを受け、サービス利用料金を払う」形になる。

以上